

科目	地域・在宅看護論 I (地域・在宅看護の場を知る実習)				
時間数	1 単位 40 時間	授業方法	実習	授業時期	1 年
実習場所	泉川診療所 外来診療・訪問診療・通所介護(デイサービス)いずみかわ 総合福祉施設やすらぎの郷 希望の苑—介護老人福祉施設・短期入所・通所介護・訪問介護・在宅介護支援センター・ あゆみ苑—障害者支援施設(入所・生活介護)・短期入所・訪問介護・移動支援・ 障害者生活支援センター・ ケアハウス夢テラス 総合福祉館コミュニティハウス三恵 通所介護事業所おいでんや 多機能型事業所わくわくクラブ— 障害者の生活介護・放課後等デイサービス 訪問看護事業所ずっと				
ねらい	講義(地域・在宅看護の場と制度)をもとに、生活や支援の場を訪問し、どんな人が利用しているか、居宅(自宅)や施設での生活を続けるために、どのような支援が必要か 等、見聞きする。グループ毎に、出会った人や知り得たことを発表し、学びを共有することができる。				
目標	1. 地域で生活する人に必要な支援(介護・看護・医療・相談事業等)が提供される 多様な場を知る。 2. 多様な場やサービスを利用しながら暮らす、生活者である 看護の対象を知る。 3. 学びを発表し、共有することができる。				
授業計画					
内容	1. 見学実習 グループに分かれて、実習場所を訪問する。 訪問した場所では、どんな事をしているのか、診療や看護、介護や生活支援についてその場を利用している人や、そこで働く人の気持ち・思いを聞く。 2. グループワーク 実際に見聞きしたことと、講義で学んだことを合わせて、地域で生活している人の健康や暮らしを支えるために、どのような場があり、どのような人が働いているのかをまとめる。 3. グループ発表 互いの学びを発表し、共有する。				
評価方法	在宅看護論実習評価表、適性・態度評価表を総合して評価する				